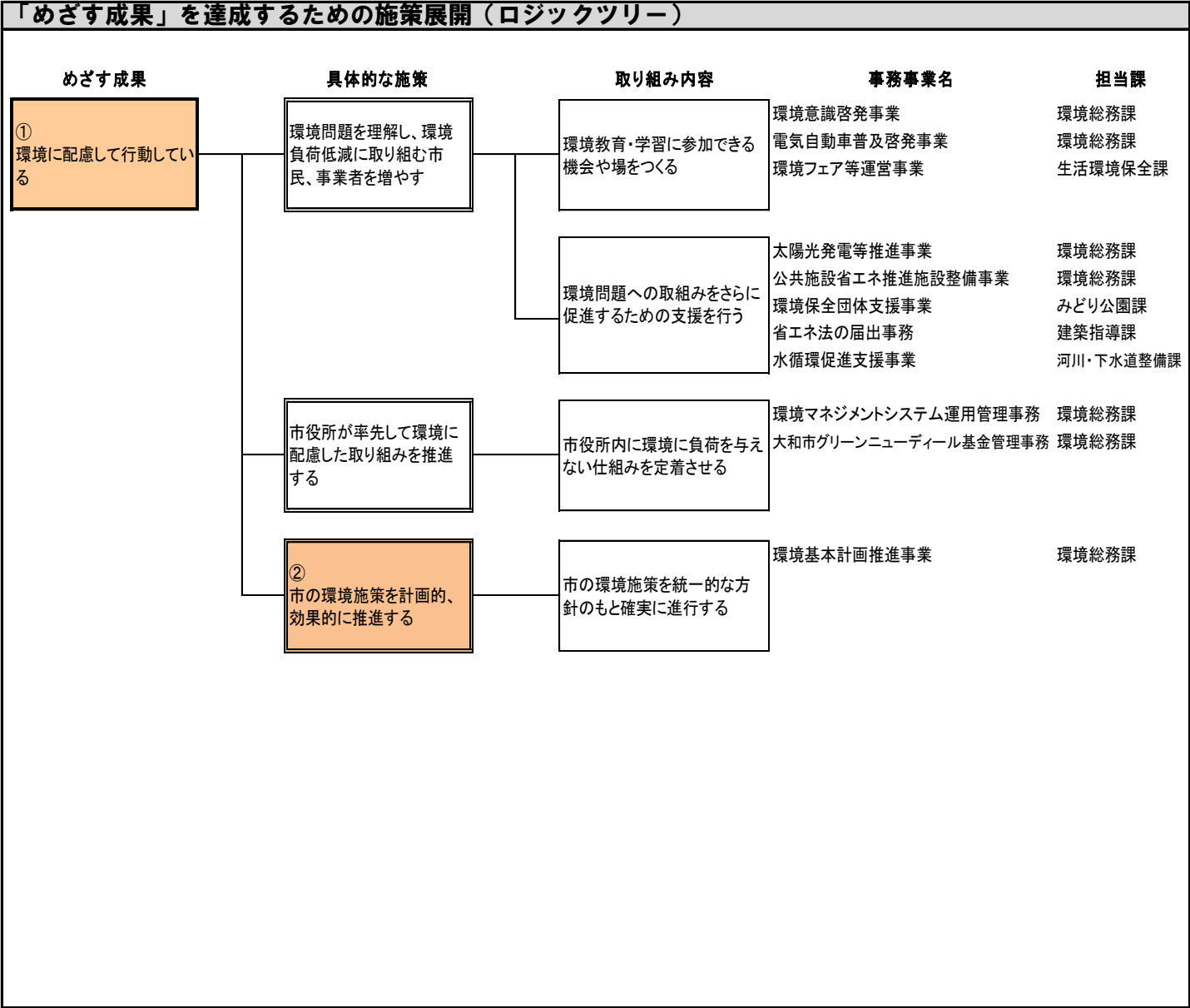


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
4－1－4 環境に配慮して行動している		
総合計画体系	健康領域・基本目標	まちの健康・環境を守り育てるまち
	個別目標	環境への負荷を減らす
	めざす成果	環境に配慮して行動している 市民、事業者、行政が環境問題を認識し、環境への負荷軽減に配慮した行動をとっています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
環境に配慮している人が多いと思う市民の割合		1990年度と比較した二酸化炭素排出量の増減	
計画策定時	45. 9%	計画策定時	110. 2%
現状値		現状値	
実績値 (H21)	57. 0%	実績値 (H21)	106. 3%
中間目標値 (H23)		中間目標値 (H23)	97. 0%
目標値 (H25)	67. 0%	目標値 (H25)	91. 0%

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート	
主な取り組み内容	【環境問題を理解し、環境負荷低減に取り組む市民、事業者を増やす】 ・説明会の開催のほか広報やホームページによって、クールアースデーなどの環境配慮行動の普及啓発に努めるとともに、やまとみどりの学校プログラム等を活用し、緑のカーテンや水生生物の観察などを通じて環境教育を支援しました。 ・電気自動車関連の整備を行い、環境フェアや環境学習により電気自動車の普及啓発に努めました。 ・住宅用太陽光発電システムの設置費や売電に対する補助制度により、自然エネルギーの活用に努めました。 ・公共施設省エネ・グリーン化推進事業を活用し、高効率照明、断熱フィルムや太陽光発電システムを導入しました。 【市役所が率先して環境に配慮した取り組みを推進する】 ・環境マネジメントシステム「やまとEMS」の活用により、市役所や市の事業活動での省エネなど環境負荷の低減に努めるとともに、内部監査制度や環境セミナーなど、職員に対する環境啓発に努めています。

構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）	・環境配慮指針に示す配慮行動を市民、事業者及び市が連帯して取り組み、環境負荷を低減し、地球温暖化対策の推進を図ります。 ・環境教育を推進することで、次世代に良好な環境を受け渡すことに努めます。 ・環境基本計画に掲げる二酸化炭素排出量削減目標を達成するため、（仮称）大和市地球温暖化対策実行計画の策定作業を行い、特例市として率先した施策を検討します。 ・公共施設の省エネや新技術を率先して導入することで、市民事業者への普及拡大が促進できます。 ・補助金など経済的な支援により、新技術や省エネの導入を加速し、低炭素都市の実現が推進します。
-----------------------------	---

今後の展開方針		
注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。		
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充	環境ポスターコンクールの対象を小学校低学年まで広げ、1年生から6年生までとし、環境美化の意識啓発を行います。	（該当する事務事業） 環境意識啓発事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化	環境フェアについては、同時期に開催されている「産業フェア」への参加によって、運営面での効率化を図ります。	（該当する事務事業） 環境フェア運営等事業
その他見直し		（該当する事務事業）

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	* 平成23年度の審議予定となっています。